

# Fresh Talk

～ フレッシュトーク ～



## 紋別地区消防組合消防署雄武支署

### まえだ とおと 前田 登音さん

「東日本大震災がきっかけで、救急救命士を目指すことを意識しました。」と話すのは、昨年9月から紋別地区消防組合消防署雄武支署に務める前田さん。  
東日本大震災のあった10年前、前田さんは小学校卒業間近でした。テレビから流れてきた東日本大震災の映像に大きなショックを受けたといいます。  
「自分にできることは何かないか」と感じ、震災下で活躍していた救急救命士という職業を知り憧れを持ちました。「と当時の思いを話してくれます。」  
現在の仕事内容について何うと「車両などの点検や、緊急時の救急消火活動などに従事しています。」

また、先日は若草保育所の避難訓練に参加し、防災のための啓発活動なども行いました。救急活動などの補助として現場に出ると訓練との違いや先輩方の手際の良さに圧倒され、まだまだ勉強が必要だと感じていきます。5月から、消防学校に入学するので、もっと消防士、救急救命士としての知識や技術を勉強して、先輩たちに追いつけるように、頑張りたいです。」と熱い気持ちで伝わります。  
高知県出身の前田さんは「雄武町は、自然豊かでもとても過ごしやすい町だと思います。この素晴らしい町の安全のために精一杯努力します。どうぞこれからよろしくお願いします。」と力強く話してくれました。

## 雄武町民憲章（町民の誓い）

雄武町民わたしたちは、オホーツクのきびしい自然を生かし、父祖・先人の労苦を感謝しながら、郷土愛にみちた町づくりと、ひとりひとりのしあわせのため、一すこやかに、なごやかに、まめやかに一 励まし合い、希望と自信をもって、生きがいある生活につとめ、たしかな未来につながる信条をかかげて、朝夕守りとおすことを誓い合います。

- 一、自然を生かし、住みよい環境をつくります。
- 一、きまりを守り、明るい社会をつくります。
- 一、ともに助け合い、楽しい職場をつくります。
- 一、元気に働き、豊かな家庭をつくります。
- 一、希望に生き、たくましい雄武町民となります。

昭和 46 年 3 月 19 日制定

### ◆編集後記

## Editor's note

▼漁港の近くを通るとオジロワシやオオワシを見かけます。流氷と同じく、はるばる北国から到来した彼らは3月中旬まで多く見かけることができます。今年こそはオジロワシと流氷の写真を撮ろうとチャンスを伺っていますが、なかなか接岸しない流氷にもどかしい日々です。(大辻)

▼新型コロナウイルス感染症の影響で、雄武町の成人式も延期となってしまいました。広報でも毎年、新成人の喜びの声を紹介していましたが、今年はそれも延期となってしまいました。早くコロナウイルスが収束し、新成人の嬉しそうな顔を取材できることを願います。(結城)